



福島県芸術祭開幕式典(二本松市文化センター)

二、福島県芸術祭

福島県芸術祭は、「県民による芸術発表等の促進」、「県民への芸術鑑賞機会の提供」及び「芸術文化団体等の活動促進」を二本の柱として、昭和三十七年度から実施している。

本行事は、主催行事と参加行事から構成されており、このうち主催行事は、県北地区を中心に十一行事が、また、参加行事については、全県下において五十七行事が実施された。

県芸術祭は、毎年九月一日から十一月三十日までの三か月間をその開催期間としており、この期間内に、県内各

江見俊太郎(社)日本芸能実演家団体協議会)

地域で多彩な行事が繰り広げられ、県民の芸術文化の一大祭典として、大き

ます。

な盛り上がりを見せているものであり

三、福島県文化センター

昭和四十五年九月に、県文化センターが開館して以来、その管理運営は、財団法人福島県文化センターに委託している。開館十四年の歩みは、多種多様な県民の文化的欲求に応え得る文化センターづくりを念頭に置き、その運営にあたつてきた。

文化センターの組織は、文化会館、美術博物館、歴史資料館の三館が、それぞれ特色をもつた機能で運営されてきたが、本年度より県立美術館が開館したのにもない、美術博物館の業務が移行し、廃止された。

自主事業は、県内各地における文化施設の開設、整備が進められる中で、



文化センター自主事業少年劇場「少年王マチュシ」

表5 昭和59年度福島県芸術祭主催行事

主催事業名	期日・時間	開催場所	開 催 内 容
福島県吹奏楽 コンクール	9月1日～2日	福島県文化 センター	1. 趣旨 各支部より選抜された代表が一堂に会して、日頃の研究成果を発表し、吹奏楽による音楽の普及と向上をはかる。 2. 日程 9月1日 35団体、9月2日 33団体 審査員6名
	9:00～17:00		
福島県 美術協会展	10月27日～11月4日	〃	1. 県内各地より洋画を公募 2. 会員・会友・一般公募作品の展示公開 3. 作品審査を行い入選作品及び優秀作品に賞を授与 審査員70名
	9:00～17:00		
福島県彫塑協会展	10月27日～11月4日	〃	会員の彫塑創作活動の意欲をもりあげ、技術の研修の機会とするとともに、会員の1年間の創作活動のまとめとして制作した作品を一堂に展示・会員及び一般の人々の批評を得る
	9:00～17:00		
詩 祭	10月7日	福島市民会館	1. 講演 2. 詩朗読 3. 新刊詩集と著者の紹介 4. 福島県現代詩集出版紹介と感想 講師 小海永二
	9:00～16:30		
川 柳 大 会	11月11日	福島県蚕糸会館	1. 事前に公表した川柳の課題及び当日発表の席題について投句し、審査採点のうえ、上位の者に賞品を授与 2. 第4回福島県川柳賞表彰式 審査員3名(県外2名、県内1名)
	9:30～15:30		
福島県書道協会 秀作展 (創立35年記念)	10月4日～7日	福島県文化 センター	1. 県書道協会創立35年を記念して、広く県内から作品を募集し、優秀な作品を展示する。 2. 本県書家の育成と書道の振興をはかる。 審査員25名
	9:00～17:00		
福島県吟剣詩舞 連合大会	9月16日	二本松市民会館	県内各地区の各流各会33団体が参加し、詩吟、剣舞、詩舞の発表と共に研修をし、更には一般の方々にも無料入場をしていただき、県民芸術文化の振興に寄与する。 審査員8名
	9:30～16:50		
福島県三曲連盟 演奏会	10月7日	川俣町 中央公民館	1. 出演団体 県北支部(箏曲8社中、尺八3団体) 県南支部、会津支部、いわき支部、相双支部から代表一曲を演奏 入場料 500円
	12:00～17:00		
福島県現代 吟詠のつどい	10月21日	梁川町農村環境 改善センター	1. 出演団体 福島県吟詠家協会、11流派団体会員 150名、他に梁川町内の尺八、琴、コーラス、舞踊等の協力出演 2. 協会全体としては構成吟三題とし、一流派15分で行う 参加料無料 合吟、連吟構成吟
	10:30～14:00		
俳 句 大 会	10月28日	安達町就業 改善センター	1. 作品の公募 2. 投句の受付、整理、作品集の印刷 3. 選評の依頼 4. 選評の印刷 5. 講演、各地区代表選者の選評 6. 入選作者の表彰 7. 作品集、入選作品集、成績表の配付 投句料 1,000円
	10:20～15:00		
短 歌 大 会	11月18日	保原町民 センター	1. 受付 2. 講演 3. 歌評 4. 表彰など 講師 扇畑忠雄 審査員3名 投稿料 1,000円
	9:00～16:00		